

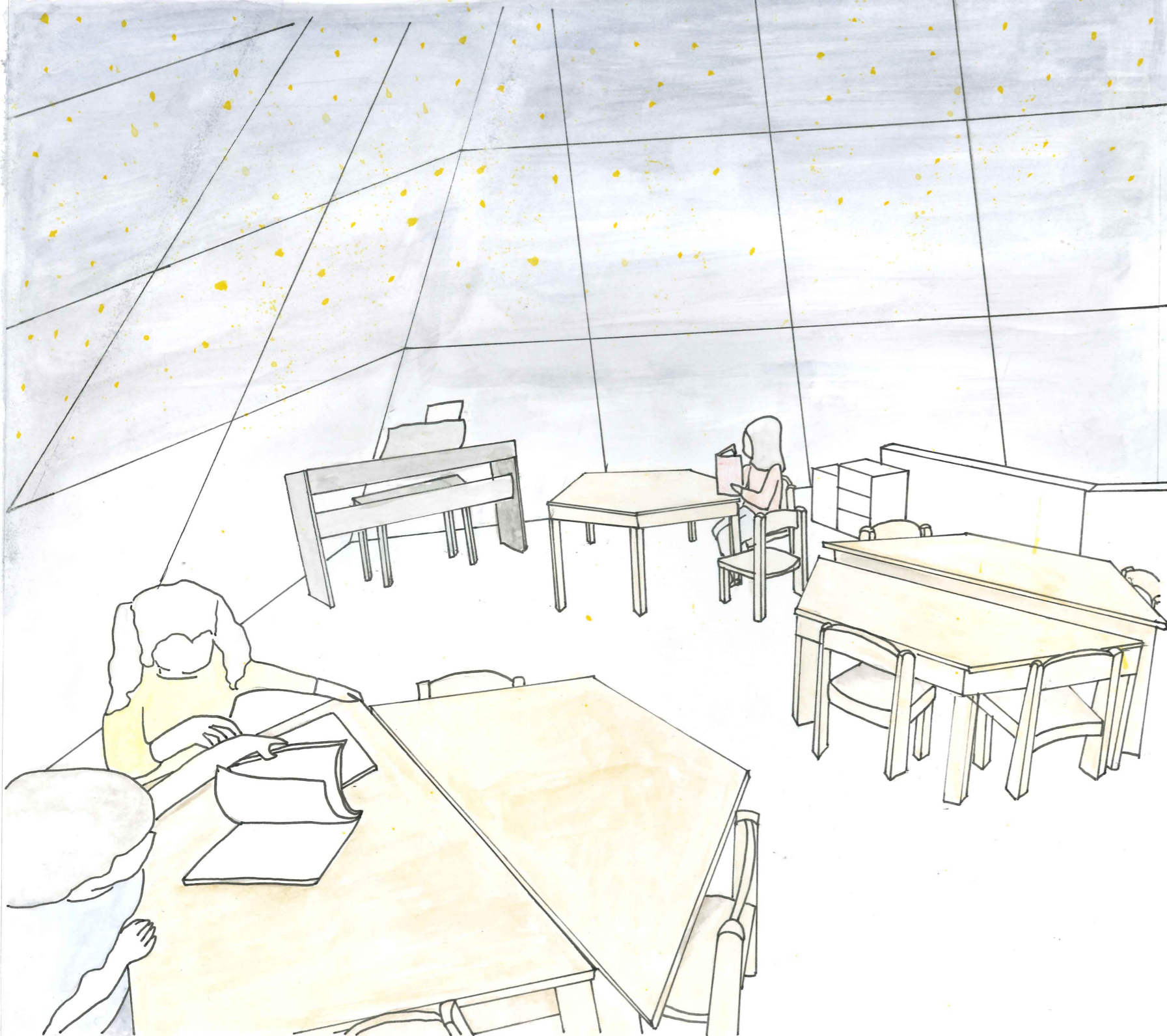
街をてらす図書館

夜でも開かれた図書館。

この図書館は、24時間開放されており、夜間保育を行う。

そして、図書館の内部に、保育園の他に天体観測をする場、横になってくつろぎながら本を読む場を設ける。また、機能を重ね、多層とし、ガラスで全体を包むことで三角錐のシンボリックな形となる。

それにより、夜一人で留守番をする子ども・仕事帰りの大人・天体や読書が好きな人など、多様な人々の居場所となり、静岡の未来を照らすことを願う。

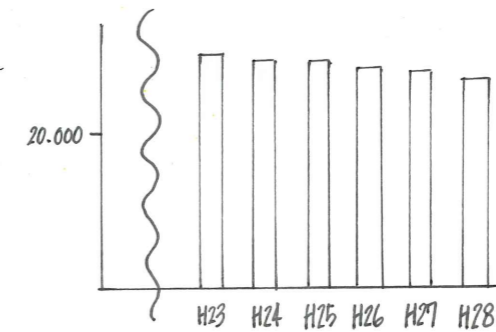


○静岡県の課題

静岡県は、年々出生数が減少している。

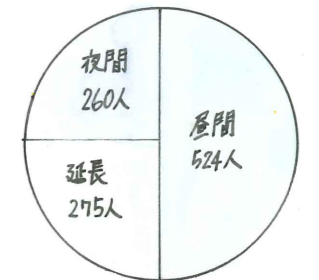
近年、深夜帯の仕事や残業など夜間に行く仕事が増えている。しかし、夜間に働く親が子どもをあずける夜間保育園は、平成29年の時点で全国81ヶ所ほどしかない。静岡県では、0ヶ所である。そういったことが、子どもを産みたいと思う人を減らし、少子化を進める1つの要因だと思われる。

静岡県の出生数の年次推移



出典:みずほ情報総研株式会社「夜間保育の運営状況等に関する調査研究」
静岡県健康福祉部「静岡県少子化関連データ」

夜間保育園の利用児童数



○形の成り立ち

